

第2学年 社会科

1. 社会って何を勉強する教科？

国際化の時代、見知らぬ人々と交流するためには、お互いの歴史と文化を伝えあい、理解し合うことが必要です。歴史の学習は、考える歴史。どうしてそうなったかと疑問を持つことが大切です。今の社会は情報化・環境問題など、あらゆる面で急速に変化しています。アメリカの会社が倒産したり、国の経済破綻が世界経済に大きな影響を与えるなど、グローバル化が進んでいます。世界や日本の未来を考えながら、変化に立ち向かっていく力を養ってください。みなさんがいろいろな土地に出かけたり、そこで生活している人々と心のつながりを持つたりするときに、社会科で学んだことがきっと手がかかりになるでしょう。

2. 学習の仕方

○授業の中で大切にしてほしいこと

- ・2分前に着席しノートを開けて、前回の授業内容を確認しておきましょう。
- ・忘れ物をしない。（忘れ物があると授業の内容がわからなくなります。）
- ・ノートを必ずとりましょう。今日の学習をまとめ、資料やプリントを貼っておきましょう。

○家庭学習で取り組んでほしいこと

- ・教科書を必ず読み重要語句の意味を理解しましょう。統計資料やグラフなどの特色をつかみましょう。
- ・新聞やテレビのニュースで、世の中の動きに関心を持ちましょう。
- ・自主ノートに学習内容をまとめたり、ワークで復習すると理解が深まります。
- ・わからないことをわからないままにしないようにしましょう。教科書だけでなく、クロームブックを活用して調べたりすることが大切です。

歴史の勉強方法

1年生の「アドバイス」で、歴史の勉強方法について説明しましたが、どれくらいの人が実行したでしょうか。復習してみましょう。

①時代の流れをつかむ

<いつ・だれが・どこで・どうして・どうなった>というように、ひとつの事柄をまとめること。

②日本と世界の結びつきを考える

日本と関係の深い国々（中国・朝鮮半島の国々など）とどのような交流があったのか、さらにアメリカやヨーロッパの国々とはどういう関係だったのかをつかむこと。

1年生では、室町時代までが学習内容だったので、これだけでも十分でしたが、2年生ではさらに、世界の国々とのつながりをしっかりと頭に入れていかなければ、ゴチャゴチャになってしまいます。以下に、2年生の社会科の勉強方法について述べていきます。このうちのいくつかを実行していけば、社会科の成績アップにつながるはず

(1) 戦争を中心に流れをつかむ

江戸時代が終わると、日本は大きな変化をとげていきます。それまで関係が浅かった世界の国々とも、交流が深くなっていきます。明治維新以後に、日本がどのように発展していったかを、戦争（日清・日露戦争など）を中心にして年表形式でまとめたり、国と国との関係を図にしてみると分かりやすくなります。ちなみに、近代史は高校入試に必ず出題されます。

(2) 授業や家庭学習で地図帳を必ず使う

近代の歴史の学習には、世界の国々や地名がたくさん登場します。その時に頼りになるのが地図帳です。国名や地名が出てきたら、必ずその位置を地図帳で調べることが大切です。目で見ているうちに、どの国がどこにあるか分かってきます。歴史の授業でも地図帳は必ず用意しておくようにしてください。

地理の勉強方法

2年生では、「世界から見た日本のすがた」、「日本の諸地域」を学習します。日本の地域を調べるのは、1年生の時に行った、「世界の諸地域」を参考にすればいいでしょう。調べ方が身につしてい

れば、それほど難しくはないはずです。また、日本の全体像をつかむためには世界との比較（地形や気候など）、世界の国々との結びつき（日本と関係の深い国を中心に）をつねに意識して学習することが必要です。ふだんから、世界のできごとやニュースに関心を持つことも大切です。それから、夏休みなどの長期休業や休日を利用して実際に旅をしてみる、という体験もいいですね。東京や鎌倉・横浜など、歴史上の事件があった所や教科書に出てくる地名を探しながら歩くと、勉強になるし楽しいものですよ。

○受験勉強は？

3年生は、学校で新しく学ぶ内容と同時に、高校入試に備えて1・2年生の総復習—いわゆる受験勉強—をしなければなりません。千葉県公立高校の学力検査では、社会科は、例年「公民」30%、「地理」・「歴史」それぞれ35%程度の割合で出題されています。効率よく勉強していくためにも、「公民」は授業に集中して取り組み、できるだけ授業中に覚える習慣をつけていきましょう。そして、家庭学習では、夏休み前に地理と歴史をひととおり復習しておくことを勧めます。遅くとも夏休みが終わるまでには、確実に総復習をして おいてください。準備は早すぎることはありません。卒業を笑顔で迎えるためにも、今から計画的に学習を進めていきましょう。

3. 一年間の学習内容と目標 A：十分理解 B：ほぼ理解 C：不十分

月	単 元	学 習 内 容 や 目 標	評 価
4 5	世界から見た日本のすがた（地理）	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、国内の地形や気候の特色、自然災害と防災への努力がわかる。 ・世界と日本の人口と人口密度、日本の少子高齢化、人口分布、過疎・過密問題がわかる。 ・世界と日本の鉱産資源の分布、エネルギーの消費の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題がわかる。 ・日本と世界との交通・通信網の発達の様子や物流、国内の交通・通信網の整備状況から地域間の結び付きがわかる。 	A B C
6 7	近世の日本（歴史）	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ社会の変化が日本社会へ大きな影響を与えたことをヨーロッパ人の来航や鉄砲、キリスト教の伝来を通して説明できる。 ・戦国の動乱社会が織田、豊臣により集権的社会に変化していったことがわかる。 ・ヨーロッパ文化の影響を受け、豪華な桃山文化が開花したことがわかる。 ・大名統制や鎖国政策、身分制度など、幕府と藩による集権的な社会のしくみが成立したことがわかる。 ・町人文化が都市を中心に盛んになり、各地方にも生活文化が生まれたことがわかる。 ・社会の様々な変化が関係し合って、幕府の政治が行き詰まってきたことがわかる。 	A B C
9	開国と近代日本の歩み（歴史）	<ul style="list-style-type: none"> ・欧米諸国が近代社会となったり、工業化により社会が変化したりしたことがわかる。 ・欧米諸国のアジア進出に対するアジア諸国の対応と変容がわかる。 	A B C

10	日本の諸地域（地理）	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境が地域の人々の生活や産業などと深い関係をもっていることや、地域の自然災害に応じた防災対策が大切であることがわかる。 ・伝統的な生活・文化には、自然環境や歴史的背景が関わりがあることや近年の都市化や情報化・国際化によって地域の伝統的な生活・文化が同質化していることがわかる。 ・世界や日本の他の地域との結び付きの影響を受けながら地域は変容していることなどがわかる。 ・過疎・過密問題の解決が地域の課題となっていることなどがわかる。 ・持続可能な社会の構築のためには地域における環境保全の取組が大切であることなどがわかる。 ・地域の地理的事象の形成や特色に歴史的背景がかかわっていることがわかる。 ・産業の立地は、自然的条件や社会的条件が関連していることや地域に果たす産業の役割、他の事象との関連で変化するものであることなどがわかる。 	A B C
11			
12			
123	開国と近代日本の歩み（歴史）	<ul style="list-style-type: none"> ・明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことがわかる。 ・立憲制の国家が成立して議会政治が始まったことがわかる。 ・我が国の国際的地位が向上したことがわかる。 	A B C

4. 評価の観点・内容及び評価方法

観点	内容	評価方法
知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	学習活動の観察 ノート・ワークシート ペーパーテスト 発表
思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	学習活動の観察 ノート・ワークシート ペーパーテスト 発表
主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	学習活動の観察 ノート・ワークシート